

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		政治・経済(2)			
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数	
原則3年次		通年	2	6	
科目の概要	現代の社会について主体的に考察し理解を深め、平和で民主的な国家・社会の形成者となるために必要な公民としての資質を養う。				
科目の目標	民主主義の本質について理解を深める。現代の政治、経済、国際関係などについて客観的に理解するとともに、現実の情勢を主体的に探究する。さらに、法や経済のしくみ、国際社会の課題など理解を深め、現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を身につける。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	現代の政治 民主政治の基本原則	・民主政治の発展過程と各国の政治制度の特徴について、また、民主主義の特徴や課題、および各国の政治制度の特徴について理解して理解する。		1	前期
	日本国憲法の基本原則	・日本国憲法の基本原則と現実社会の問題について考察する。 ・憲法が果たす役割について考える。			
	日本の政治機構	・国会、内閣、裁判所、地方自治といった日本の政治機構のしくみを理解し、権力分立のしくみが日本国憲法の下でどう活かされているかを考察する。		2	
	現代政治の特質と課題	・日本の政党政治や選挙制度について理解を深める。 ・世論の役割や国民の政治参加がどうあるべきかについて考察する。			
	現代の国際政治	・国際社会の仕組みを理解する。・国際連合や国際機関の役割や課題、国際社会における日本の役割について考察する。・地球環境問題、資源・エネルギー問題など考察する。	1		
	現代の経済 現代の資本主義経済	・資本主義経済の成立過程や、その変容について理解し、資本主義の特徴について考察する。		3	
	現代経済のしくみ	・市場メカニズムや経済成長、金融や財政など、現代経済の基本的なしくみや理論について考察する。	2	4	後期
	日本経済の発展と産業構造の変化	・高度経済成長をもたらした要因について理解し、バブル経済とその後の日本経済の課題について考察する。			
	福祉社会と日本経済の課題	・日本経済が抱える公害・環境問題や消費者問題等、様々な問題について、現状やその原因・背景を考察する。			
	国民経済と国際経済	・貿易や国際収支のしくみを理解し、国家間の対立や協調の動きについて考察する。 グローバル社会における日本の役割について考察する。		5	
	現代社会の諸課題 日本社会の諸課題	・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化など、日本社会の諸課題について理解を深め、考察する。		6	
	国際社会の諸課題	環境、資源・エネルギー、紛争、貧困など、国際社会の諸課題について理解を深め、考察する。			
評価方法	年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。				
単位の修得	①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間2時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。				
使用教科書等	教科書 政治経済 (東京書籍)				
学習上の留意点					